一 般 教 育 訓 練 明 示 書

講 座 の 名 称	看護学研究科博士前期課程					
実 施 方 法	① 通学 （ 昼間 ・ 夜間 ・ 土日 ）					
指定講座番号(15桁)	2122007	—	2410012	—	4	
講 座 の 創 設 年 月 日 平成16年4月1日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和6年4月1日 令和9年3月31日まで	過 去 一 年 の 講 座 実 績	令和8年4月 入講者数（7人）		令和8年3月 修了者数 （4人）	
訓 練 期 間	36ヶ月		総 訓 練 時 間		713	

1. 教 育 訓 練 目 標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	修士(看護学)
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	岐阜県立看護大学大学院
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	博士前期課程に3年以上在学し、修了所要単位数(33単位)以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	職種・職務:看護師、保健師、助産師、養護教諭、教員 業界:民間の保健・医療・福祉施設、公的機関の保健医療部門、看護職養成機関 活用状況:修得した能力・専門性等を生かし、施設全体や地域の看護の質の向上に貢献している。

2. 教 育 訓 練 の 内 容

教 科 （カリキュラム）	時 間	使 用 教 材 名
基本科目	83	シラバスを参照
看護学共通科目	180	シラバスを参照
専門科目	450	シラバスを参照

3. 受 講 者 と な る た め の 要 件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	大学卒、養護教諭専修免許状又は一種免許状を有する場合、保健師、助産師、看護師または養護教諭として2年以上、看護系又は養護教諭養成の短期大学、専修学校、各種学校を卒業・修了した場合は4年以上の実務経験を有する者
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	大学を卒業した者または大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
③その他	

一 般 教 育 訓 練 明 示 書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1)資格取得状況

① 前年度内の受講修了者数	4	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	4	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	4	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	4	人			

(2)受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		3	人	
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	2	人	②A:就業者計
	2 非正社員、派遣社員	1	人	
	3 その他の就業(自営業等)		人	3人
	4 非就業		人	②B:非就業者計
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	2	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転	1	人	
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない		人	3人
④ 受講後の就業形態	1 正社員	3	人	④A:就業者計
	2 非正社員、派遣社員		人	
	3 その他の就業(自営業等)		人	3人
	4 非就業者		人	④B:非就業者計
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	1	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)
	2 1割以上3割未満増加した		人	
	3 1割未満増加した		人	
	4 変わらない	2	人	
	5 1割未満減少した		人	
	6 1割以上3割未満減少した		人	
	7 3割以上減少した		人	
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	1	人	⑥の回答数合計
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人	
	3 社内外の評価が高まる	1	人	
	4 早期に転職・再就職できる		人	
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	1	人	
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる		人	
	7 趣味・教養に役立つ	1	人	
	8 その他の効果		人	
	9 特に効果はない	1	人	5人
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した		人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人	
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人	
	4 就職していない		人	0人
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	2	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2 おおむね満足	1	人	
	3 どちらとも言えない		人	
	4 やや不満		人	
	5 大いに不満		人	3人

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	試験成績、平常の成績及び授業への参加状況等により総合的に評価する。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

博士前期課程に3年以上在学し、修了所要単位数(33単位)以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

一 般 教 育 訓 練 明 示 書

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	受講者は、看護実践現場の看護職と協働して3か年にわたる研究を実施し、修士論文を取りまとめるため、受講者1名に対して主・副の2名の指導教員を決め、受講者一人一人の取り組みの進捗状況に合わせて各受講者に合った指導・助言を行います。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	研究の実施過程においては、同学年の受講者及び担当指導教員以外の教員も参加する集団指導、学年の異なる受講者が参加する集団指導と主・副指導教員による個別指導を組み合わせて指導・助言を行います。また、必要と判断した場合は、指導教員が受講者の所属組織に出向き、上司への説明を行います。

8. その他の事項

指定教育訓練実施者名及び代表者名	公立大学法人 岐阜県立看護大学	(代表者名:理事長 松下 光子)
住所及び連絡先	岐阜県羽島市江吉良町3047-1	TEL 058-397-2300
施設名称及び施設長名	岐阜県立看護大学大学院	(施設長:学長 松下 光子)
住所及び連絡先	岐阜県羽島市江吉良町3047-1	TEL 058-397-2300
給付制度担当部署・者	学務研究部学務課	(担当者:清水 弘道)
連絡先	TEL 058-397-2300	

一般教育訓練経費	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		円
支払い方法	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	338,000 円 ※岐阜県内者は112,000円の割引あり	
各納入時期に一括払	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	計 1,071,600 円 内訳 1年次前期 178,600 円 1年次後期 178,600 円 2年次前期 178,600 円 2年次後期 178,600 円 3年次前期 178,600 円 3年次後期 178,600 円 (うち、必須教材費 0 円)	
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	13,500円	
	① 副読本代(税込額)		円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		円
	③ 施設維持費(税込額)		円
	④ その他(保険料) (税込額)	13,500	円
	3. 総額 (1+2) (税込額)		円

〔特記事項〕